

イノベーション・シジョンへ連携

崇城大など 教育プログラム開発



包括連携協定を結んだ、右からSCBラボ所長の星合隆成・崇城大教授、熊本西高の柿下耕一校長、崇城大の中山峰男学長、SCBラボの田尻博子副代表＝13日、熊本市西区

大とSCBラボが教育プログラムを開発。西高は来年度新設のサイエンス情報科（定員40人）を中心に、そのプログラムも使って授業や実習を展開する。崇城大が学内に開設する「IOT・AIセンター」なども活用する。

SCBラボ所長で崇城大情報学部星合隆成教授は「これからの時代は『つながり』にこそ価値がある」とイノベーションの重要性を強調。西高の柿下耕一校長は「新しい価値を創出する人材育成を前へ進めることができ」と期待した。

崇城大の中山峰男学長は「社会革新を担うのは若者たち。将来は多くの高校と連携したい」と述べた。

（平井智子）

崇城大と熊本西高、

崇城大などが設立した

一般社団法人「SCB

ラボ」の3者は13日、

高校生へのイノベーシ

ョン教育を連携して進

めようと、包括連携協

定を締結した。ICT

とアートや福祉など、

異なる分野を結び付け

て新たな価値観を生み

出し、産業創出や地域

の活性化につなげてい

く狙い。

協定に基づき、崇城